

「2R」啓発 イベント参加報告

整理番号:20161016

イベント名	アクト通りふれあいデイ
-------	-------------

実施内容	
活動日時	平成28年10月16日(日) 8:00~12:00
活動場所	アクト通り地下道
活動者名	村河善信、藤田由己、外村潤二、高根美保
詳細	①3R周知度アンケート調査&ごみ減量宣言 募集 ②ダンボールde生ごみ処理 実践モニター募集 ③リユース食器の貸出制度啓発 ④楽器のリユース事業紹介:マラウイ共和国への支援 ⑤もったいない食器市紹介 ⑥古紙のリサイクル事業紹介:雑がみ紹介

事業の様子と成果	参加者:136名 ※内訳 大人 106名、子ども 30名 ①ごみ減量宣言:5名(男性 0名、女性 5名、子ども 0名)、リデュース宣言 5名 生ごみを土に埋める 3件、マイボトル持参 1件、キッチンペーパーは使わない 1件 【3R周知度アンケート 60件】 3Rの意味を正しく理解しているもの。リデュース 26件、リユース 40件、リサイクル 55件 3R実践している事。(1)レジ袋をもらわない 51件、(2)詰め替え商品を買う 47件、(3)料理を作り過ぎや食べ残しに気を付けている 45件、(3)資源物集団回収の利用 45件、(5)余分な物は買わない 33件、(5)生ごみ水切り 33件、(5)民間企業の資源物回収の利用 33件 少数意見:(1)生ごみの堆肥・肥料にしてる 12件、(2)バザーやフリーマーケットの利用 22件 (3)マイはしやマイボトルの利用してる 23件 ②段ボールde生ごみ処理 モニター希望者:2名 ③リユース食器貸出:希望者 0名、事業への興味から⑤もったいない食器市事業紹介へ繋がります。 ④楽器支援事業:家庭内で眠っている楽器が有効利用できる事を広報した。数名の方々は、次回のイベント時持込をご案内できました。また、もえるごみに出した。と、言われる方が大変多く。ごみ減量の取り組みとして有効な事業です。 ⑤もったいない食器市:リユース食器の貸出制度への興味から家庭内で不用となっている食器類が多数ありごみにするのは「もったいない」から有効利用したい。と希望される市民が多かったです。11月に開催する市を紹介しました。 ⑥10月「3R推進月間」の広報として古紙のリサイクル「雑がみ」回収を中心に啓発を行いました。「雑がみ」の言葉は周知されていましたが、行動が伴わないようです。正しく分別してリサイクルする意味を説明することで理解を得ることができました。家庭で実践できる啓発グッズを配布しました。
----------	--

改善	3Rの中でも「リデュース、リユース」の2Rについては言葉の理解がされていない事が分かりました。しかし、実践行動では、リデュースの行動が行われています。今後は、2Rの意味と具体的行動を結び付けるような活動が必要です。
----	---

記録添付

